

2017.07

スーリールファム通信

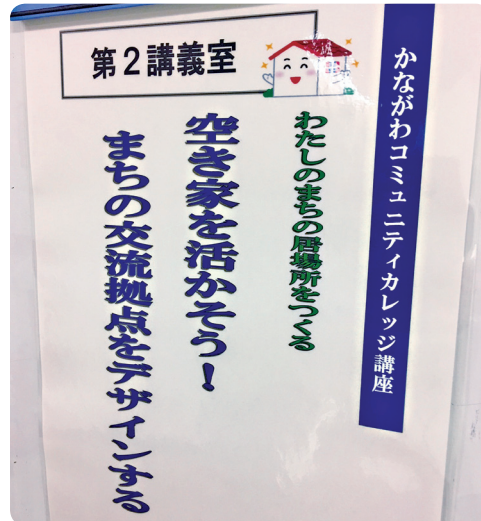
かながわ
コミュニティ
カレッジ
講座

「空き家を活かそう! まちの交流拠点をデザインする」

第6回目

「NAYA」(川崎市)

「ハートフル・ポート」(横浜市)



7月22日、今回は2件の空きスペース活用成功事例についての講座でした。

川崎市の武蔵新城でボロボロのトタン葺きの納屋(倉庫?)だった建物をオーナーさんが自カリフォームしてDIYでキッチンも付け、「NAYA」としてスタート。

地域の子育て世代の交流拠点として活用されています。

川崎市中部地域は、首都圏への通勤至便で、おしゃれな高層マンションも増え、人口の自然増&社会増という、現代日本では稀有な高い出生率を誇る地域です。

子育てママ世代の孤立を防ぐ、といった地域の課題解決を目指すグループ「みどりなぐらし」



の方が運営を任せられ、活動の拠点となっています。

ママさんたちが集まってお茶したり、子供同士が遊んだり、親子でイベントをしたりしています。

また、時間貸しでワークショップなども開催。参加者だったママさんの、趣味でやっていたクラフトが、プチ起業へつながったお話など、コミュニティカフェの可能性を感じました。

そして、横浜市旭区で二世帯住宅の自宅一階をリフォームして、地域に開かれた「場」を作った「ハートフル・ポート」の事例。

家族の介護を引き受けつつ、PTAや地域で活躍してきた五味さんは専業主婦だったそうですが、ママ友含めてガッツリ育ててきたネットワークなど、主婦スキルが見事に活用されていた事例でした。

重要なポイントは「疲れないこと」と五味さん。

「ガンバリすぎたり、やり過ぎたりして疲れでは続かない。赤字になっても続かない。まずは自分が楽しいと思えること」。

成功事例の皆さんからは、よく「楽しむ」という言葉が聞かれます。

それから、「10やってみて、実際に形になってくるのは1つか2つ。最初から、その1つ2つをやることはできない。10のことをやってみて初めて、その中からやっと1つが生まれる」という言葉には励まされました。

「楽しい」をエンジンに確実に広がっている「プライベートからパブリックへ」の流れ。そんなことを感じました。



※写真はイメージです